

日本科学者会議

第18回総合学術研究集会(於宮城)

1st Circular

**基本テーマ：21世紀：人類史の転換期における科学の役割
多様性と普遍性の矛盾を考える**

開催日時：2010年11月20日(土)～21日(日)
開催場所：KKRホテル仙台(宮城県仙台市青葉区錦町)

日本科学者会議第18回総合学術研究集会(18総学)の開催にあたって

イラク・アフガン戦争の泥沼化と国際的混迷、リーマンショックを発端とする経済危機と新自由主義の政策的・原理的破綻、地球温暖化などの環境危機等々に対して、米国と日本において変化を標榜する政権交代は、世界世論に促迫されて、核兵器廃絶への志向表明をも加えて新たな動きを作りつつあります。このような覇権国米国を中軸とする最近の一連の動きは、部分的というよりも、世界史上の大変化の一環であって、時代全体の転換の予兆とも考えられます。無論、楽観はできません。したがって、21世紀のいま、20世紀までの人類史の到達点と負の遺産である危機の諸相を見据え、時代の巨視的転換を展望すること、すなわち、現代世界の歴史的課題と方法を問い、あわせてその克服の方向を探究することは、科学と科学者が担う重大な責務であるように思われます。

18総学の基本テーマは、転換を探究する重要な切り口の一つとして、今回の場合、変化の中に潜む新旧の二つの相、社会や自然の諸領域での個別事象や事物の多様性とそれらを貫く共通項や共通傾向など双方に注目し、それらの緊張関係や矛盾、対立、統一・調和を総合的に考えようという呼びかけです。言い換えれば、人類がその歴史的・社会的運動を通じて見出してきた「人類史的価値」とも言うべき平和、人権尊重、本当の豊かさ、環境保全などへの可能性と問題解決の方向を、まずは現在の多様な諸相の中に探るというものです。この課題に取り組むために、国立大学の法人化などの新自由主義政策の強行が生み出した幾多の問題を含む科学の現状や科学技術政策を見直すことも必要です。

実行委員会は、20年ぶりに仙台開催の総学のテーマについて、このように考えています。どうか、全国の会員の皆様、分科会設定とご報告準備にあたり、次ページをも参照のうえご一考いただければ幸いです。東北地区からは、過疎化や、農林水産業をはじめとした産業の衰退などの地域固有の問題や特性を生かす取り組みを準備中です。全国各地の比較検討と相互交流の有意義な機会になるよう願っています。広くご参加とご協力を期待しております。

日本科学者会議第18回総合学術研究集会実行委員会

18 総学の構成

日	午前	午後	夕
19(金)			市民講演会
20(土)	10:00～12:00 分科会 ポスターセッション (21日終了まで)	13:00～ 実行委員長挨拶 基調報告 記念講演 川崎 健 氏 15:30～18:00 分科会	懇親会
21(日)	9:30～18:00 分科会、ワークショップなど		

記念講演 川崎 健 氏 日本科学者会議代表幹事、東北大学名誉教授
近著『イワシと気候変動』岩波新書

18 総学の開催と成功のために

全支部参加を原則とし、実行委員会、各支部、全会員、全国委員会は、日本科学者会議の「目的」にそった諸活動の質の高い成果が18総学に総結集されるように努力します。その過程で総学が日本科学者会議の活動のいっそうの活性化と組織拡大とにつながることを大切だと考えています。

(1) 全国委員会（研究委員会、問題別委員会）へのお願い

全国委員会は2年間の活動成果にもとづいて自主的に分科会を開催し発表をおこなうこと、さらには必要に応じて、自主的に連絡を取り合い合同で開催・発表することを期待します。その際に、実行委員会は運営上必要な調整・支援をおこなうものとします。

(2) 各地区・支部へのお願い

各地区・支部は会員の総学への参加状況を掌握し、多数の会員が論文発表および研究・活動紹介による参加が可能ないように創意を發揮することを期待します。

ポスターセッションを設けますので、全支部の活動報告の展示をお願いします。また、若手への財政支援を準備していますので、若手や院生へのお声かけも宜しく願います。各地区においては18総学に先立ってプレシンポを実施してください。

懇親会では各支部から「お国自慢」の物産や出し物をお持ち寄りください。

(3) 全会員へのお願い

会員各自の研究発表および共同研究の発表を期待します。また研究・活動紹介を奨励します。そのための分科会（分科会名、コーディネーター、座長等）の積極的な提案をお待ちしています。実行委員会は、提案と希望を尊重し、分科会の開催とテーマの割り振りなど運営上必要な調整を行います。

研究基金助成対象者は、発表が原則です。

また、会員外にも参加を呼びかけましょう。

分科会設置について

- 分科会は基本テーマを中心にした総合的なもの、および研究委員会、問題別委員会、支部などから提起されたものとなります。ただし、両者に明確な区別はありません。
- 分科会設置申し込みの締め切りは 2010年4月9日とします。
- 分科会の設置を希望する会員は、下記要領にしたがって、分科会名、設置の趣旨（200字程度）、コーディネーター（連絡先を兼ねる）を記して、実行委員会まで申し込んで下さい。連絡（申し込み）先は下記の住所あるいはメールとします。
- 申請された分科会は会場の部屋数とスペースの許す限り、原則として採用されますが、分科会間の調整をお願いすることがあります。

18 総学分科会設置申請書

分科会名	
コーディネーター (連絡先)	氏名： 所属： 電話： Fax： mail：
設置の趣旨	
主な報告者 (空欄可)	
所要時間と 希望日時 (第2希望も 書いて下さい)	

【参加費】(予定)

一般会員 4,000 円、院生 1,000 円、会員外 4,500 円
(いずれも予稿集含む、一般会員および会員外の事前登録は500円割引)
懇親会 3,000 円(院生 1,000 円)

【今後の主な予定】

1st circular 1月12日発送(分科会の募集)
2nd circular 5月10日発送(分科会の決定と発表者の募集)
3rd circular 10月12日発送(最終プログラム)
分科会設置申込期限 4月9日
論文発表申込期限 8月2日(発表者、分科会、タイトル)
原稿提出期限 9月21日(完全版下提出、パソコン入力の必要なものは9月7日)
18 総学開会 11月20日

【日本科学者会議第18回総合学術研究集会実行委員会】

実行委員長 西崎友一郎(元東北大学教授・神戸学院大学教授)
事務局長 伊藤宏之(福島支部事務局長)
事務局次長 岩本智之(全国事務局次長)、西崎 滋(岩手支部)、
左近拓男(秋田支部)、嶋田一郎(宮城支部)、高木 直(山形支部)、
伊藤昌太(福島支部)
実行委員 石川隆二(青森支部)、井上博夫(岩手支部)、山元正継(秋田支部)、
三宅良美(秋田支部)、小笠原卓(宮城支部)、石栗義雄(宮城支部)、
栗野 宏(山形支部)、斎藤 毅(福島支部)、佐久間英俊(東京支部)、
今井証三(愛知支部)

連絡・問い合わせ先：日本科学者会議第18回総合学術研究集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル9階

TEL：03-3812-1472 FAX：03-3813-2363 E-mail：18sougakuアットマークjsa.gr.jp

会場：KKR ホテル仙台(国家公務員共済組合連合会仙台共済会館)

住所：宮城県仙台市青葉区錦町 1-8-17 TEL：022-225-5201 FAX：022-265-7701

